

ソフトウェア活用

対象クラス	第2学年 ビジネス科 商品開発コース 事務会計コース 選択者	単位数	2
使用教科書	ソフトウェア活用 (実教出版)		
使用副教材	学習と検定 全商情報処理検定テキスト1級 ビジネス情報部門(実教) 全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報1級		

「ソフトウェア活用」とはこんな科目です。
 今日の社会で、コンピュータは欠かせないものです。コンピュータに関する知識を習得し、アプリケーションソフトを利用したデータ処理能力を高めます。業務担当者として、たんにコンピュータを使えるだけではなく、情報通信ネットワークを活用して業務を効果的に処理できる能力を身に付ける科目です。

- 科目の到達目標(目標とする検定等)
- ・ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理・分析・活用する知識や技術を習得します。
 - ・ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなどエンドユーザコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を育てます。
 - ・全商情報処理検定ビジネス情報部門1級合格を目指します。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・企業活動におけるソフトウェアの活用について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けられるか。	・行動観察 小テスト 問題集 定期考査 ・検定の成績
思考・判断・表現	3	・企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。	・行動観察 小テスト 定期考査 ・検定の成績
主体的に学習に取り組む態度	3	・企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・行動観察 提出物 小テスト

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	1章 企業活動とソフトウェア活用 2章 情報通信ネットワークの活用 【前期中間考査】	・ソフトウェアの重要性 ・情報通信ネットワークの導入と運用 ・情報資産の保護	・情報通信ビジネスにおけるソフトウェア活用の重要性を理解します。 ・ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解します。 ・情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解します。
前期期末	3章 表計算ソフトウェアの活用 【前期期末考査】	・オペレーションズ・リサーチ ・情報の集計と分析 ・手続きの自動化	・表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解します。 ・表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎を理解します。 ・マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方を理解します。

後 期 中 間	<p>4章 データベースソフトウェアの 活用</p> <p>【後期中間考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの重要性 ・データベースの設計 ・データベースの作成と操作 ・手続きの自動化 ・データベースの構造 ・SQLの操作 	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの特徴や基本的な機能を理解します。 ・データベースソフトウェアを活用するための知識と技術について理解します。 ・フォームを用い、手続きを登録する方法を理解します。 ・データベースの構造を理解する。また、表を正規化するための手順を理解します。 ・SQLを用いた汎用的なデータベースの操作方法について理解します。
学 年 末	<p>5章 業務処理用ソフトウェアの 活用</p> <p>5章 情報システムの開発</p> <p>【学年末考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入・販売管理ソフトウェアの活用 ・給与計算ソフトウェアの活用 ・グループウェアの活用 ・表計算ソフトウェアによる情報システムの開発 ・データベースソフトウェアによる情報システムの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループウェアを活用することの利点と、グループウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解します。 ・販売管理ソフトウェアを活用することの利点と、販売管理ソフトウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解します。 ・給与計算ソフトウェアを活用することの利点と、給与計算ソフトウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解します。 ・情報システムの開発に関する基礎的な知識、技術について実務に即して理解します。